



第14號

發行所 郡民館 額田郡 幸田町 愛知縣 幸田町 岡崎



御あいさつ 幸田村長 本多伴吉

民主政治の基盤といわれる地方選挙で国民の関心は講和問題から選挙へ一轉して、全日本選挙一色に塗り潰されたが、知事の決選投票を名残に略完了しました。皆様方も民主治下の榮ある國民として理想選挙のためほんとは忙しい毎日を送りになつたことと存じます。そのあわただしい四月も過ぎて、黒方の春も漸く深まり、十方根山脈は緑に明け菱池の田も緑島も緑、空も青空よいたる日増に太る春霖、今年も豊けき稔りをひたすら希つてやみません。

・ 諸今度不肖淺學非才をも願みず、皆様方の絶大な御支援と心からなる御同情の賜によりまして村長に就任致しましたことをここに厚く御禮申し上げます。

小生日頃の念願につきましては、選挙中申し述べましたように「明朝

で文化の香り豊かな幸田村の建設」と、封建色の最も濃いといわれる農民生活の「合理的な改善」とで所謂「民主的な住みよい村づくり」であります。不肖無力ながらも誠私以て各位のために忠實な公僕として出来る限りの御奉公を盡す覚悟でありまして、理解ある皆様方の御協力を得るに努め、歴代有為な村長諸氏の後を承継することなく其の大任を悉く果したいと日夜念願しております。

一 萬四千村民の皆様 どうぞ良きにつけ悪しきにつけ、又事の大小、時の如何を問はず、四六時中御意見を承るようくれぐれも祈つております。そのきたんなき御批判に基き公僕精神に則り、「皆様に納得の行く善い政治」を気軽に御相談申し上げ、老骨に鞭うち十二分の精進をさせて頂きますよう御願ひ申し上げます。就任の御挨拶といたします。



◆力を合せて明るい世界

赤十字資金の募集

助けを求める氣の毒な人々と、他人を助けようとする親切な人たちが、赤十字を通じて結ばれます。地震や洪水の時に、火傷をした幼児を救つたり、けがをした人の手當をする救護員の勇しい話は、おききになつたでしょう。

世界を一つに結ぶ大きな平和運動地上に永遠の幸福をもたらすために六十九ヶ國の赤十字人が力を協せる運動です。

この大事業をするために、一年に一回赤十字は資金を募集します。あなたの寄附金がこの仕事を盛んにするのです。

赤十字は人道と博愛を目標とする

世界で一番大きい民間の団体です。歐洲各國では「一國の文化の程度は赤十字の發達でわかる」という言がある程、國民の赤十字への期待が大きいそうです。

日本赤十字も皆さまの熱心な御支持で世界に負けない程の事業をして文化國家にふさわしいものになりたいと思ひます。

あなたの御寄附がこの事業を完成するのです。さあ、白い羽根に赤い十字のバッヂを身につける誇りを、味わつて下さい。

本年度の募金目標額は壹千五百萬圓で、運動期間は五月中で、本村の割當目標額は次表の通りです。

昭和26年度幸田村赤十字募金目標額 (1戸當25圓)

支所名	目標額
長嶺	1,550円
久保田	1,525
坂崎	5,875
大草	6,350
高力	2,225
新田	825
鷺田	2,650
岩堀	7,275
横落	1,775
荻谷	3,925
芦田	3,500
幸田	4,675
里海	3,875
市場	2,525
計	53,250



幸田村議會議員名簿

定員二十六名 (四月二十三日当選)

席票数	氏名	生年月日	住所	職業
26	高橋 助市	23 9 10	坂崎字城二三	"
10	牧野 宗一	41 9 4	芦谷字北屋敷三三	"
6	都築 友太郎	28 2 28	" 昆沙門一五	"
5	浅井 与市	35 10 14	菱池字山ノ郷四一	"
7	中村 賢治	33 9 21	長嶺字東馬場崎一	"
11	鈴木 末吉	36 4 14	久保田字上ノ山一四	"
3	墨江 貞治	26 8 12	深溝字下島一八	"
17	金沢 仲次郎	23 1 14	坂崎字小道八	"
14	清水 周平	41 1 31	大草字本田一	"
1	岩瀬 健太郎	19 12 6	深溝字天王山二二	"
4	山本 誠市	30 4 4	高力字高崎七五	農
13	有馬 茂男	大 4 5 5	" 字御林吉	会社員
23	鈴木 寅之助	明 35 1 25	" 字寺西三	農
21	後藤 勝美	" 8 2 18	菱池字御林一〇	"
22	宮本 次郎	大 9 10 20	横落字郷中	会社員
8	星野 桑吉	明 42 9 25	芦谷字幸田四三	物品販売
2	神本 徳市	正大元 11 15 39	深溝字上池田一三	"
15	石川 佐一	36 12 11	" 字東部六五	"
18	本多 源吉	30 12 22	" 菱池字西脇五一	農
12	松山 新二	明 45 1 30	幸田村大字芦各字幸田二三	会社員

幸田村議會議員並びに
村長選挙投票率 (4月23日)

幸田村長
当選 本多 草逸 郎 吉 四・〇〇三票
次点 足立 郎 二・五七〇票

投票所	性	有権者数	投票数	不在投票数	棄権数	投票率	順位
第一	男	527	501	17	26	95.2	6
	女	568	561	21	7	98.8	
男女計		1,095	1,062	38	33	96.1	
第二	男	497	491	7	6	98.8	2
	女	570	570	20	0	100.0	
男女計		1,067	1,061	27	6	99.4	
第三	男	287	286	6	1	99.7	1
	女	300	300	5	0	100.0	
男女計		587	586	11	1	99.8	
第四	男	589	573	13	16	97.2	4
	女	706	701	42	5	99.3	
男女計		1,295	1,274	55	21	98.4	
第五	男	617	611	17	6	99.0	3
	女	672	662	16	10	98.5	
男女計		1,289	1,273	33	16	98.7	
第六	男	518	495	8	23	95.5	5
	女	955	932	21	23	97.5	
男女計		1,473	1,427	29	46	96.4	
計	男	3,035	2,957	68	78	97.4	
	女	3,771	3,726	125	45	98.8	
男女計		6,806	6,683	193	123	98.1	

席票数	氏名	得票数	得票率	順位
19	内田 義治	34 9 10	49	
20	貝吹 信次	30 11 20	53	
9	鴨下 錠平	41 12 19	42	
24	平田 若松	31 6 19	52	
25	大津 米太郎	21 3 5	63	
16	金子 鶴子	34 10 17	49	
	深溝 字札ノ辻九			
	坂崎 字揚り山二七			
	深溝 字市場二七			
	大字 字本田三			
	荻 字西中七			
	以五八			
	農			
	組合長			



改良 普及だより

額南地区農業委員会

普及事務所おなじみの谷川普及員
退任後、神谷氏孤軍奮闘のみじめさ
が四月になつて、安城地区から敏腕
家として自他共にゆるす黒柳貞治氏
と、本年試験場出たての新進白井普
及員が時を同じうて赴任せられ、
改善女史の病もいえて、こゝに鐵壁
の陣容を整え、皆さんの御利用を待
つています。どうぞよろしく。

☑ 明るい働きよい台所

台所改善は費用と手間がかかりま
すが家族の健康を保ち主婦の作業能
率をあげるために工面して実施しま
しょう。先ず自分の手間で出来るこ
とは今すぐ初めましょう。一度には
出来ませんから少しずつ何年計画で
いきましよう。改善貯金で頼母子講
の形式で順々に作るなどは最もうる
わしい方法です。
門構えや床飾りに金をかける前に先
ず台所から初めましよう。客をお座
敷を通す代りに台所ですませるよい
台所にましよう。

● 苗代の改良について

黒柳貞治

皆さん苗代の時が参りました。昔
から苗半作といはれ米の増産には大
變重要であります。一割増産は先ず
苗代からで今年の苗代は次の事につ
いて改善ましよう。

1. 苗代地力の培養
苗が健全に育つためには地力に富ん
でいる事が必要ですが用水の都合上
毎年同じ土地に作る場合が多いので
肥料として補う外に有機質や石灰分
鐵分マンガン等我々の氣付かない要
素が欠乏して苗イモチやゴマ葉枯病
がでるので毎年堆肥を十分施したり
畑土を客土する事が必要です。
2. 種子の消毒
稻熱病菌や胡麻葉枯病は種穂につい
てあるので塩水選や種子消毒を是非
やるのです。消毒薬は役場で買って
渡すから實行班長と連絡し必ず実施
すること。
3. 播種量
薄播は健苗育成の秘訣です。反當り
二升位がよい。(苗代面積は九坪)
4. 施肥
肥効確かな魚粕油粕がよい。次に下
肥硫酸石灰窒素等で燐酸加里肥料を
必ず併用すること。
以上は余程呑氣者でも心得て實行
して頂きたまう。

愛知縣知事決選投票率 (5月11日)

投票所	性	有権者 数	投票数	(不在 投票)	棄権者 数	投票率	順位
第一	男	515	452	3	63	87.8	4
	女計	563 1,078	501 953	5 8	62 125	90.8 88.4	
第二	男	495	473	4	22	95.6	2
	女計	569 1,064	531 1,004	6 10	38 60	93.3 94.4	
第三	男	288	281	4	7	97.6	1
	女計	300 588	290 571	6 10	10 17	96.7 97.1	
第四	男	587	503	2	78	86.7	5
	女計	695 1,282	617 1,126	7 9	78 156	88.8 87.8	
第五	男	616	546	3	7	88.6	3
	女計	669 1,285	611 1,157	2 5	58 123	91.3 90.0	
第六	男	505	417	4	88	82.5	6
	女計	939 1,444	801 1,218	2 6	138 226	85.8 84.3	
計	男	3,006	2,658	20	328	89.1	
	女計	3,735 6,741	3,351 6,029	28 48	384 712	89.8 89.4	

愛知縣議會議員並びに

縣知事選挙投票率 (4月30日)

投票所	性	有権者 数	投票数	(不投 在票)	棄権者 数	投票率	順位
第一	男	515	501	11	14	97.3	3
	女計	564 1,079	540 1,041	21 32	24 38	95.7 96.5	
第二	男	495	488	8	7	98.9	2
	女計	569 1,064	566 1,054	22 30	3 10	99.5 99.1	
第三	男	288	287	5	1	99.7	1
	女計	300 588	298 585	6 11	2 3	99.3 99.5	
第四	男	588	560	11	28	95.2	5
	女計	699 1,287	667 1,227	41 52	32 60	95.4 95.3	
第五	男	617	595	16	22	96.4	4
	女計	670 1,287	642 1,237	17 33	28 50	95.8 96.1	
第六	男	505	462	9	43	91.5	6
	女計	942 1,447	880 1,342	19 28	62 105	93.4 92.7	
計	男	3,008	2,893	60	115	96.18	有効 6372 無効 114
	女計	3,744 6,752	3,593 6,486	126 186	151 266	95.97 96.06	



學校だより

研究指定校決る

1 縣指定

實驗學校
音樂科(器樂)

職業家庭科

P T A

2 郡指定

算數科

特別教育活動

音樂科(器樂)

幸田小學校
幸田中學校
幸田小學校
幸田中學校

深溝小學校

荻谷小學校

坂崎小學校

幸田中學校

表彰狀

幸田村公民館

右者昭和二十五年度における
運営が適切であつて郷土の民
主化並びに地域社會の改善に
顯著な成績を挙げたので茲に
表彰する。

昭和二十六年三月三十日

愛知縣教育委員會事務局

畑田事務所長 伊藤 行雄



輝く表彰

五月五日こどもの日

氏名	児童生徒	保護者続柄
高橋 典子	幸田小六	茂男 三女
小島 富士夫	幸田中三	さわ 三男
高橋 至子	幸田中三	茂男 二女
星野 宣代	荻谷小六	ひさ 二女
横井 美恵子	深溝小六	一夫 長女
大浦 敏夫	深溝小六	七松 二男
加藤 隆	荻谷小六	國松 四男
三浦 健市	坂崎小六	よね子 長男
杉浦 昭子	坂崎小六	あや 三女
足立 昭彦	幸田小六	さの 二男
山本 幸枝	岩堀 三	東太郎 二女
志賀 光男	岩堀 三	東太郎 四男
牧原 幸夫	幸田 五	嘉彦 長男
三浦 早苗	市場 六	信幸 長女
山田 和子	幸田 六	茂 二女
鶴田 義博	海谷 七	善助 長男
山本 枝子	長嶺 八	信雄 長女
志賀 安幸	岩堀 四	隆二 長男
墨江 幸子	海谷 三	隆二 長女
宮本 典子	横落 七	次郎 長女
伊藤 八重子	喜平 三	平兵衛 二女
田邊 喜平	喜平 三	平兵衛 二女

海の子等と共に

東部分館

孤兒—こんな言葉を知り何だか
私たちは、すぐ淋しい子供頭の出
す汚れた靴みがきの子を思い出す。
我等東部分館の者は海の子の孤兒
たちを招いて四月八日桃の節句に
日おばさんを行つた。全員五十一名
揃つて明るく元気で暗い影等少しも
認めないあれが親無しで暖かい家庭
を持たない子供とは思われない。家
長西脇先生の人格の偉大さを今更の
ように感じた。

汽車が大混雑で予定より遅れて午
前のプロに異状を来たしたが、着く
や否や挨拶もそつちのけでピンポン
野球に打興するもの、三三五五集つ
て話に花を咲かせるもの恰も十年の
知己のよう、たつた今知り合つた同
志とは思われない親しみの一時であ
つた。楽しい晝食も談笑のうちにす
み、いよいよ午後ともなればお互い
のベストを盡してのレクリエーショ
ンに歸りの時間も忘れる有様。
物質的なもてなしは特別にはない
ただお節句の、まんじゅう、ずし、

分館だより

ぼる程度ではあつたが我々の眞心を
馳走に心からおいしくいただいたてく
れる純眞な姿を見ただけで、もう涙
を流して私達も満足しました。

孤兒たちは本當に楽しい様子であ
つた。その筈です、お客に行く家の
ない處か遊んでくれるあてもない彼
等に田舎のおばさんの家に招かれ子
供等と共に思う存分心ゆくばかり食
べて遊んでおみやげまでもらう何ん
て。

私共はとかく個人愛になり勝です
が、少し大きな目を見開いて「あの
子もこの子も皆んなの子」と社會か
ら忘れられ勝の孤兒も同じ日本の子
供だから、すくすくと育つようお互
に協力して日本再建の一役をかおう
ではありませんか。

第四回

青少年保護育成運動

五月五日—十八日

兒童福祉週間 五月五日—十八日

○あの子も この子も

みんなしあわせ

○子の幸へ八千萬の親ごころ

○のばせ すなおに すこやかに

母見 長年のはり 五月十三日

郷土史料 (その十二)

古城址



— 志賀又郎 —

一、坂崎城址 大字坂崎字城 徳川家三奉行の一天野三郎兵衛康景の出生地で今社地となつてゐる。

二、久保田城址 大字久保田 初め高橋宗正代々の居城であつた、今は畑宅地となる。

三、大草城址 大字大草

岡崎城の築城者西郷清海人道の居城で岡崎移住後は松平七郎昌久之れに據りしが永祿六年安祥で戦死後廢城となる。

四、高力城址 大字高力字熊谷

三河三奉行の隨一高力與左衛門清長父祖代々の居城、今は熊谷橋畔の碑に昔を偲ぶのみ。

五、鷺田城址 大字菱池字城山

河川改修により川となり残地は田畑となり僅かに小丘外堀の一部を存する。伊豆衣笠城主三浦氏「南西北の三面水に接し自然の要害なれば築城あるべし。」との進言により家康直ちに工を起せりと。

六、深溝城址 大字深溝字里 目下總べて田畑開け小丘の所々に散

在を見るのみ。大場次郎左衛門の築城で後松平四代の居城であつたが家忠伏見の役に鳥井元忠と共に戦死し板倉重昌の手に移り明治に至つて廢城となる。

應仁以來天下麻の如く亂れ、英雄四方に割據して大は小を呑み強は弱を併す有様で、所在の豪族其の自衛の必要から争つて各々城郭を築いて之に據つた。其の大小廣狭は素より同じではないが、額田一郡のみでも八十余ヶ所を算える。こんなに多くの城址を有するのは三河以外に其の比を見ないそうです。

古墳墓

一、本多豊後守康重墓

坂崎圓行寺境内にあり。康重は岡崎の城主で父祖代々碧海郡土井に住し圓行寺の檀下であつた。

二、西郷彈正左衛門頼頼墓

大草正樂寺境内にあり。大草城主で剃髮して清海と號し、康正元年岡崎城を築いて移つたが、後を頼頼に譲り大草に隱退し文明六年二月十五日逝去した。法名を密乘院釋清海といふ。大草西之坊(正樂寺)に葬る。

三、内藤氏代々墓

大字芦谷にあり。

四、大場次郎左衛門墓 深溝長満寺に在り。大場氏は代々深溝村の領主で後松平大炊助忠景に亡された。

五、松平大炊助代々の墳 深溝本光寺に在り。松平氏代々の遺骸を納めた石の寶殿で壯重を極めてゐる。林道春の文案になる家忠の碑や、別殿に家忠の木像を安置してある。

四季の民俗

端午の節句

(その五)

甲、端午の節句は軍國主義だという聲があつたね。

乙、あれも節句飾りの武具等から思いついた事だろうが、端午は雑祭と同様季節の變り目の除災の祭でこの種の祭には祭のしるしとして季節の花を身につけ或はそれで災を拂う風習があつて五月には菖蒲が使われた。頭に巻いた菖蒲蔓から菖蒲兜が出来、紙や木で作つた兜の上に人形を飾るようにもなり

後には兜と人形が分れて今のようにな五月飾りが出来た。又手に持つて災を拂う用の菖蒲が眞直な葉の形から菖蒲刀になり、太刀飾り等もでき、元來實用の武具ではないし、武家でさえ實物の武具は飾らなかつたようだ。轡等もとは神様の依代の轡から變つて来たものらしい。

甲、それにしても鯉轡は傑作だね。乙、あれはもと轡の上につけられた「まねき」という小旗と吹流しを一緒にしたものだが、空高く飄る鯉轡は最もよく端午の節句を表していると思う。明るく元氣でのびのびと我が子はこのようにと願う親心をよく現わしていると思う。

甲、優しく美しい雑祭、明るく元氣な端午節句共に除災の祭から出て男子女子それぞれ男らしく女らしく育つてくれよと願う眞情から出た民俗だね。こういう美風の傳えられたことを素直に喜びたいね。





人として尊ばれる

“その幸福” 大人が守れ

児童憲章三原則

- 一、児童は人として尊ばれる。
- 二、児童は社会の一員として重んぜられる。
- 三、児童はよい環境の中で育てられる。

細則

- 一、身心ともに健やかに生れ、育てられ、その生活を保障せられる。
- 二、家庭で正しい愛情と知識と技術をもつて育てられ、家庭に恵まれない児童にはこれに代る環境が與えられる。
- 三、適当な栄養と住居に被服を與えられ、また疾病 災害から護られる。
- 四、個性と能力に応じて教育せられ社会の一員としてその責任を自主的に果たすよう導かれる。
- 五、自然を愛し、科学と藝術とを尊重よう導かれ、また道徳的心情がつちかわれる。
- 六、就学の道が確保せられ、また十分整った教育の施設が用意せられる。

七、職業指導を受ける機会を與えらる。

八、その労働については心身の發育が阻害せられ、教育を受ける機会が失われ、または児童としての生活が妨げられないよう十分に保護せられる。

九、良い遊び場と文化財を用意せられ、悪い環境から護られる。

十、虐待、酷使、放任その他不當な取扱いから護られる、過ちを犯した児童は適切に保護指導せられる

十一、身体の不自由な児童、または精神の機能の不十分な児童は適切な治療と教育と保護を與えられる

● 雑誌週間 ●

五月二十七日より
五月九日 日まで



お母さんへの感謝を言葉に出して

「ありがとう」とお禮を申し上げましょう。

五月第二の日曜日は「母の日」として世界の人々が、お母さんの愛に感謝する日です。この日に赤いカーネーションを胸につけてる人と白いカーネーションをつけてる人があります。これは今から四十年前程前、アメリカのある田舎町のアンナという娘さんがなくなつたお母さんの追悼の教會堂にカーネーションの花を飾つたのが始まりだといわれています。そのお母さんが大變にいゝ人で、一生を自分の町の子供達のために盡しましたので、町中がお母さんを記念しましたのが、だんだん國中に廣がり終には世界中の「母の日」になつたのです。

サンマータイム (夏時刻)

日のある間に仕事をしよう。今年のサンマータイムは夏時刻法によつて、五月六日午前零時に時計の針を一時間進め、九月九日の午前零時に針を戻すことになりました。サンマータイムは、夏なるべく日の出ている間に仕事をしようという考えで、一九〇七年イギリスのツイレットという建築技師が稱え初めたもので、一九一六年歐洲大戰の最中

今でも母の日の花になりお母さんがこの世にない人は白い花をつけます赤い花をお母さんに差上げ、お母さんの日頃の御苦勞に心から「ありがとう」と感謝し、その心持を行いに表わしたなら一層お喜びになるでしょう。故郷を遠く離れて勉強している學生や、子供の親となつて居る人でも母親から離れて居る人々は今この日に、お母さんにお便りをおかけしましょう。はがき一枚の便りでも、今日の「母の日」にお母さん、お元氣で暮して下さい。「お母さん、ありがとう。」と赤い花に母を喜び、白い花の思い出に心を清めましょう。今日は世界中の子らが母を讃える日です。

英國で始められました。その後各國で行われましたが、日本でも昭和四年頃から計画が進められたものの、いつも反對が多く、やつと昭和二十三年五月一日から始まりました。今年には四回目ですが、昨年など四月三日から始めたので、北海道や東北ではこたつの中でこの日を迎えるし、遠い學校へ通う生徒など眞暗なうちから起きなければなりません。そこで去年からまた五月に改められたのです。



農地委員会の 次に来るものは

封建的土地所有制度を廢絶させ耕作農民が労働の成果を平等に享受し得るため、換言すれば農民民主化のために特別措置として極力推進された所謂農地改革は農民民主化及び農業近代化の基礎となる新しい土地制度を生んだ。そして吾々はその基盤の上に立つて窮極の目的達成のため尙一尺の努力を致さなければならぬ時が来た、そこでいま農地委員会の仕遂げた事業について記し、次に生まれる農業委員会に對する理解が戴ければ幸である。

先づ全農地の四分の一以上に當る農地二百五十町歩余の解放である、第二に二十五町歩の開墾、次いで小作關係の調整等にも達している、尙本事業の失敗か否かは讀者の判断に任すにしても大化の改新、明治維新にも増して根本的な古今未曾有の大事業であつたことに異論はあるまい一口に二百五十町歩とは云え一つ登記事務にしても簡單ではない。何れともあれ本事業の推進は一般農民の理解と協力が主をなしたことは言を俟たないが献身的努力を拂われた農地委員及び補助員の勞苦に感謝を以つて報いたい。次に農地委員会等の後継者である農業委員会について記

してみよう。

農業委員会の目的はあくまで農業の改善であり農民の聲を村の行政面に生かしていくための組織である。農業委員会の任務を分拆すると執行機關と市町村長、諮問機關に分けることができる、前者は今迄の農地委員会であり後者は調整委員会及び改良委員会の務である、斯様に農業ないし農民生活に再検討を加えて、より民主的、近代的農村建設のための唯一の農民の代表である。

農業委員会の構成は選挙による委員が十五人と他に市町村長が選任をする委員が五人(以下)で成る、その中選任委員には各農業協同組合長等が適任であらう。

農業委員の選挙権及び被選挙権は共に年令二十年以上で市町村の区域内に住所を有し一反歩以上の農地について耕作の業務を営んでおるもの並びに一定日数以上耕作の業務に従事する同居の親族及びその配偶者である。但し年令というものは選挙人名簿確定の日で被選挙権については選挙の當日を以つて算定する。階層区分によらない選挙であることも農地委員選挙と異なるが他は大同小異である。

農地の根本



「作りおきの できる食べもの」

一、するめ切り漬
材料 人参三本、鰯五枚、昆布一尺、醤油三合

製法 1. 水洗した昆布水浸した鰯人参を干切にする。
2. 煮立て、さました醤油を容器につぎ入れる。

3. 日に一度かきまぜ四五日して食べる。
二、ふりかけ
材料 青のり 大匙二杯、白ごま 五勺、削粉 一合、唐辛子 少々、醤油 四勺

製法 1. 削り節を醤油でいりつけてよくさます。
2. 炒つたごま、青のり、唐辛子粉をよくまぜる。

三、油みそ
材料 人参半莖、各二本、生姜少々、大豆 一合、煮干 十匁、みそ 一合、油 大匙四杯

製法 1. 豆を炒つて醤油につける。
2. 人参半莖生姜を干切にする。
3. 煮干をざつといる。
4. 油を熱し豆を入れていためる
5. みそを入れどろろにする
6. 大豆を入れ固めてねり上げる

改善係

☐組合事業費に對する 予算内容

一、滿増産奨励費	五、九百圓
滿質改善費	一、六〇〇圓
掃立増強費	五、〇〇〇圓
蠶病予防費	五、五〇〇圓
稚蠶共同飼育改善費	一〇、〇〇〇圓
滿増産競技會費	一、三、四〇〇圓
部落會合助成費	一〇、〇〇〇圓
二、桑園擴充費	一〇、〇〇〇圓
新改植助成費	一〇〇、〇〇〇圓
調査費	五、〇〇〇圓
幹旋費	五、〇〇〇圓
三、教育情報費	五、〇〇〇圓
合計	一七三、九百圓

幸田村養蠶農業協同會合

◎幸田村婦人会 役員

會長	金子たす子
副會長	高橋志げ、早川あや
支部長	坂崎山口千代
	大草高橋志げ
	菱池志賀ふじ
	荻谷早川あや
	深溝金子たす子
會計	志賀ふじ
書記	山口千代

広報「歡び」及び雑詠
短歌
杉浦亮一選

○ 平松千代乃
湯上りをお月をたく老い母のうと
りうとりと睡る臙夜
かきつばた活けてながむる雨の夜半
われに十九の春逝くを思う
歡びは春雨の降る日曜日師の家を訪
ひ茶をたつる時
歡びを胸内に秘め投句する小雨降る
朝のポストは赤き

○ 志賀露華
雪洞の灯影も淡きひな祭古き吉野の
春をさながら

○ 鈴木與志
新らしく入社せる娘等春陽浴び歡び
の姿態バレーに興ず
選ばれて入社せる娘等今日よりは職
場につきて歡びの面わ

○ 杉浦正己
たそがれし麓の里に灯の光りはや
見ゆ若葉の中より

◎ 道路愛護週間 5月15日—21日
みんな愛護 明るい道路
荷も軽く心も軽いよ道路
みんなでいたわれ みんなの道路
よい道へ僕等も愛護の御手傳
住む人の心がうつるよ道路

ことばのあや
本格的に明朗で

多 幸な文化農村に
伴 う施政めぐらして
吉 兆もたらす新村長

○ 山 なす事務と廳員指導
口 約確しか 信望厚く
忠 實内助の勞を惜しませ
雄 々し頼もし 我等の助役

岩 を穿つた深淵も
瀬 と移りゆく濁世を
縫 合清節四十年
太 平の春 訪れて
郎 榮あり 名議長

大 いなること縣三位
津 ヌ浦々にしるき村
米 とお乳とスフの雪
太 くネオンが サインする
郎 黨仰ぐ 副議長

ありがとう お母さん

1. 大きな母のふところ
甘いお乳をいたゞいて
小さい夢をみた坊や
こんなに強くなりました。
母さん、ほんとにありがとう。

2. かわい、言葉やまゝごときや
おかげをひかぬことまでも
みんな教えてくれたので
わたしはりこうになりました。
母さんほんとにありがとう。

3. 風が吹いても雨の日も
僕等のために身をすてて
つくしてくれた人は誰
兄弟仲よく手をとつて
さあ行きましようお母さん。

4. 坊やが大人になつたなら
わたしがお嫁になつたなら
小さい時の恩がえし
ほんとにやつてみせますよ
元氣でいてねお母さん。



母を讀える歌

1. 母上は
荒地の野はら
ひねもすを 風にさらされ
けなげなにも
露を含みて 匂いたまひぬ

2. 母上は
この港
あら海に 疲れ果てたる
帆をたたみ
夢まどらかに ゆらるる如し

3. あゝされど
老いたまいたり
母上は
吾子のことのみ ひたすらに
おのが命を 削ぎ行きたもう

4. 母上を
しじにおもえば
わが胸は たぎるが如し
身にしみて
涙ながるる 涙ながるる

人口動態 (三月)

出生	二九	女男	一一	累
死亡	六	女男	一一	計
死産	二		三三	
離婚	一		4	
婚姻	一		40	
	129		17	2355
				46